

電気通信大学 平成21年度シラバス

授業科目名	電磁気学第二		
英文授業科目名	Electromagnetism II		
開講年度	2009年度	開講年次	2年次
開講学期	後学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法	講義	単位数	2
科目区分	専門科目-学科専門科目-必修科目		
開講学科・専攻	情報通信工学科		
担当教官名	福田 喬		
居室	西2-623		

公開E-Mail	授業関連Webページ
shibata@ice.uec.ac.jp	http://gwave.ice.uec.ac.jp/

<p>【主題および達成目標】</p> <p>(a)主題： 電磁気学は、力学・統計力学・量子力学等と並んで物理学の支柱であると同時に電気通信工学の基盤の一つにもなっており、それらの分野を専攻する徒にとって必修の学問である。 この電磁気学第二は同第一に引き続くものであり、第一が「静止した電荷がソースとなる場（静電界）」と「電荷の動き（電流）」を主題としていたのに対し、この第二では電流の磁気作用から始めて、磁性体、電磁誘導を経てマクスウェルの方程式に至る道を進ることになる。</p> <p>(b)達成目標： ピオ・サバールの法則、アンペアの法則、ファラデーの法則、磁性体、変位電流を理解し、電流磁界、誘導起電力、インダクタンスなどについて具体的事例を正当に評価できるようににする。ついで、電磁界現象を記述するための基礎方程式であるマクスウェルの方程式の物理的意味を修得した上で、電磁波現象の基本的性質を学ぶ。</p>

<p>【前もって履修しておくべき科目】</p> <p>微分積分学第一，同第二，線形代数学第一，同第二，力学第一，電磁気学第一，電磁気学第一演習は既履修であること。さらに，電磁気学第二演習は同時履修でなければならない。</p>

<p>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</p>

電気通信大学 平成21年度シラバス

【教科書等】

教科書：「工科の物理3 電磁気学」渡辺征夫・青柳晃共著（培風館）

参考書：「電子・情報基礎シリーズ4 電磁気学」奥澤隆志編著（近代科学社）

【授業内容とその進め方】

(a) 授業内容：

この授業では、電磁気学第一で学んだ重要概念の復習から始め、その後、
・電流と磁気作用 ・磁性体 ・電磁誘導 ・マクスウェルの方程式
の順で講述する。

(b) 授業の進め方：

講義は教科書に付かず離れずの姿勢で行う。中間試験、定期試験によって達成度を測るが、それら以外に数回の復習小テストを実施して各ステップでの理解を確認することもある。また、教壇より質問を投げかけて受講者からの応答を得ることに努め、双方向の活気ある授業運営を目指す。

【授業時間外の学習（予習・復習等）】

教科書に付かず離れずの姿勢で行うために、教科書のあるページを飛ばしたかに見える場合があるかもしれない。それはその部分を講義内容から削除したわけではなく、その部分は自学自習で十分理解できるとの判断を下したからに過ぎない。したがって、教科書は隅から隅まで、自分で十分に読み込み理解しておくように。疑問や不明を感じたら、教員に質問して理解を深めるように。

予習を行うことは当然だが、特に復習を怠らないように。授業中に講義内容、板書内容のメモをとることは当然としても、それだけで良しとはせず、そのメモを基にして即日に授業内容を復習し、不足部分を自学自習（もちろん、担当教員への質問、それによる確認も含めて）で補い、自分自身の「授業ノート」を作成するようにしてもらいたい。（授業メモは授業ノートとは似て非なるものである。）

